



# 英国 基礎情報

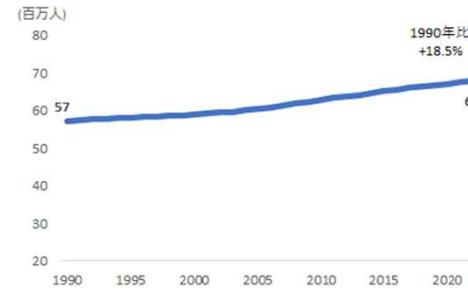
2024年3月更新

## 基礎データ

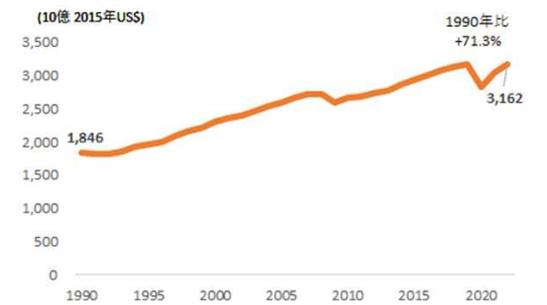
人口	6,780万人 (2022年)
GDP	3兆1,617億ドル (2015 US\$) (2022年)
GHG排出量*1	4億2,950万 tCO <sub>2</sub> eq. (2021年)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量	3億2,700万 tCO <sub>2</sub> (2021年)
1人あたりCO <sub>2</sub> 排出量	4.55 tCO <sub>2</sub> /人 (2022年)
GDPあたりCO <sub>2</sub> 排出量	0.10 kgCO <sub>2</sub> /2015年米ドル (2022年)

\*1: LUCFからの排出を含まない。

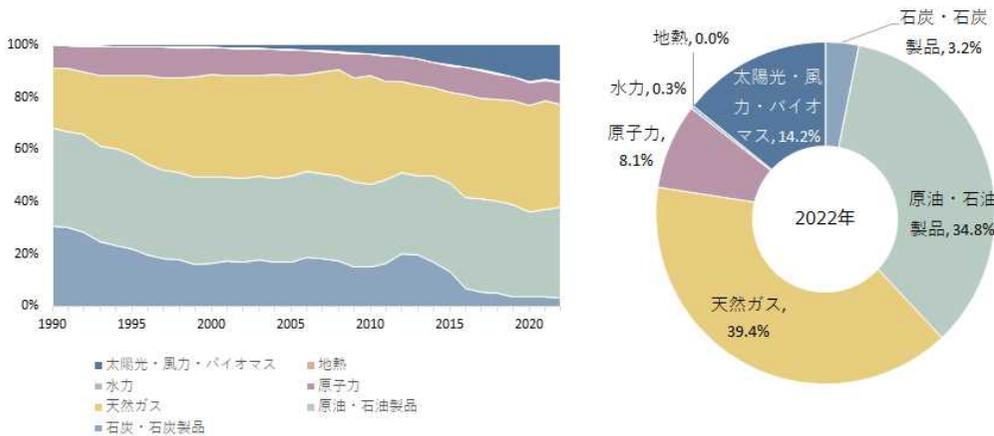
## 人口推移



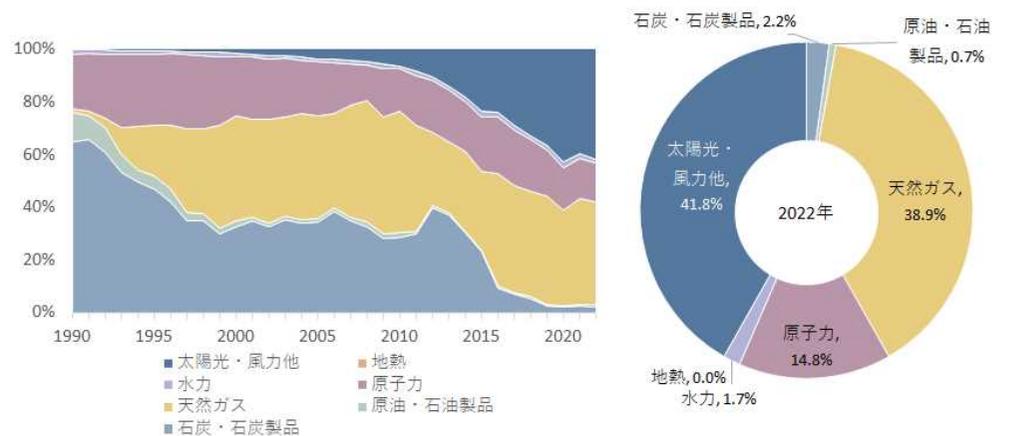
## GDP推移



## エネルギー供給構成推移



## 電源構成推移 (発電量ベース)



出典: World Energy Balances 2023 (IEA), Greenhouse Gas Emissions from Energy 2023 (IEA), Greenhouse Gas Inventory Data (UNFCCC) <[https://di.unfccc.int/flex\\_annex1](https://di.unfccc.int/flex_annex1)>, Climate Watch Data Explorer <<https://www.climatewatchdata.org/data-explorer>>より作成



# 英国 温室効果ガス排出削減目標

## 1st NDC

概要	2030年までにGHG総排出量を1990年比少なくとも-68%
目標のタイプ	総排出絶対量基準年比目標 (単年)
目標年	2030年
基準年	1990年
対象ガス	CO <sub>2</sub> , CH <sub>4</sub> , N <sub>2</sub> O, HFCs, PFCs, SF <sub>6</sub> , NF <sub>3</sub>
対象セクター	エネルギー、IPPU、農業、LULUCF、廃棄物
条件	なし
提出日	2回目更新版：2022年9月22日 更新版：2020年12月12日 初回：2016年11月18日 (※EUとして提出)
更新前目標	更新版：2030年までにGHG総排出量を1990年比少なくとも-68% (※2回目更新版では変更なし) 初回：2030年までにGHG総排出量を1990年比少なくとも-40% (※EUの初回NDC目標)

## 国内中期目標

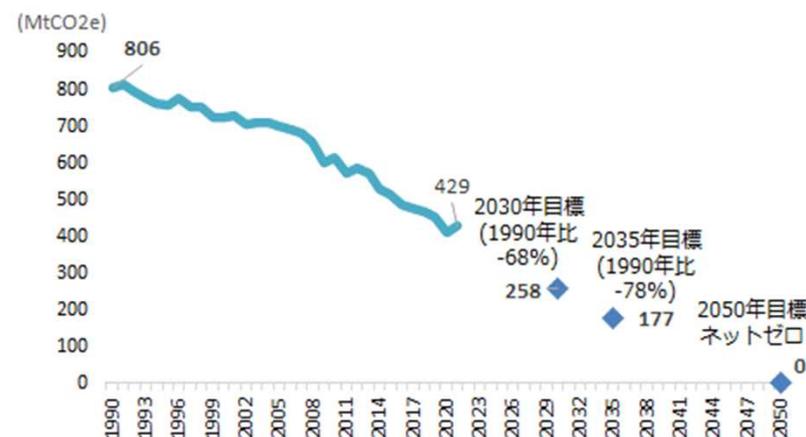
第6次カーボンバジェット	2033~2037年の排出量を965MtCO <sub>2</sub> eに抑制 (2035年に1990年比-77%*)
--------------	--

\*カーボンバジェット決定時は1990年比-78%だったが、GWP値の変更により、-77%へと変化。

## 長期目標

概要	2050年までにネットゼロ
目標年	2050年
対象ガス	全てのGHG
対象セクター	全てのセクター
ステータス	法制化
長期戦略	UK Net Zero Strategy – Build Back Greener
長期戦略提出日	2021年10月19日

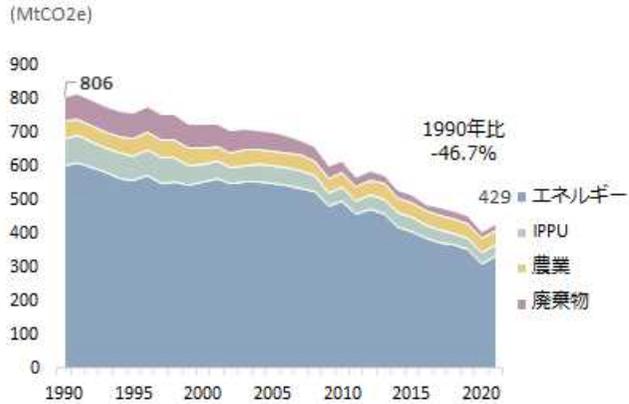
## 中・長期目標に向けた進捗



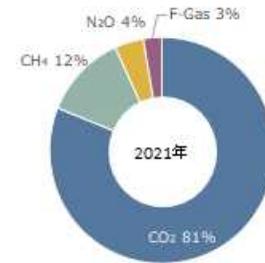
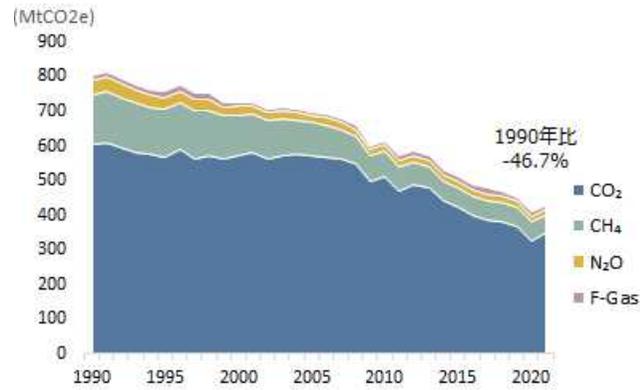


# 英国 温室効果ガス排出量の状況

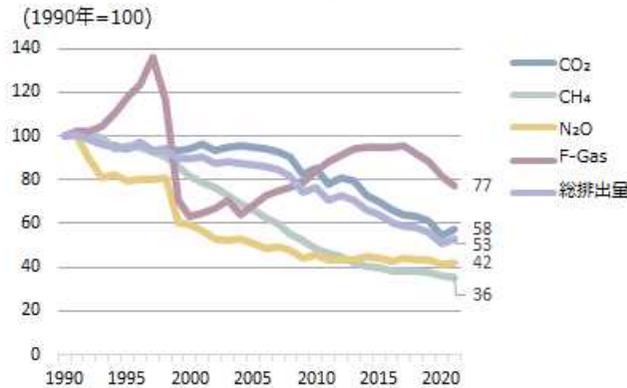
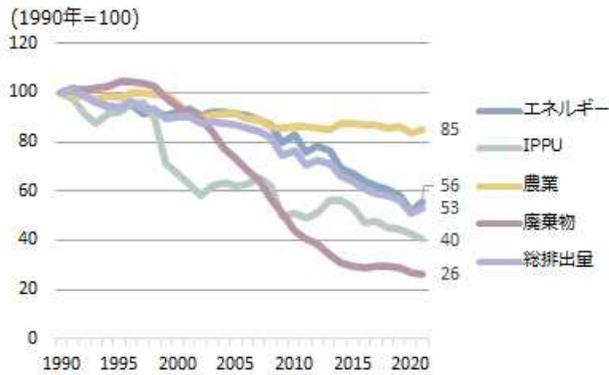
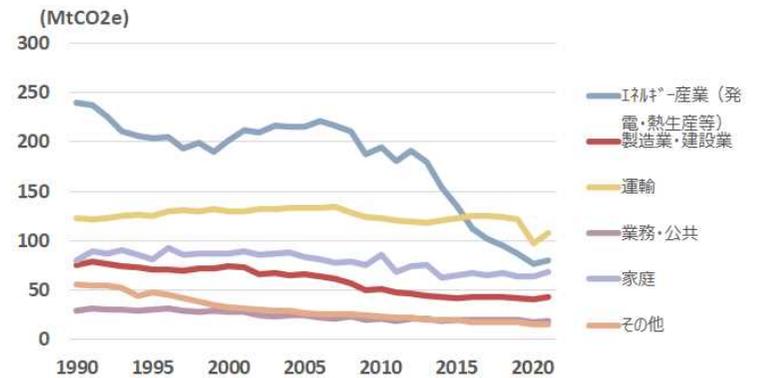
### GHG排出量（カテゴリー別）



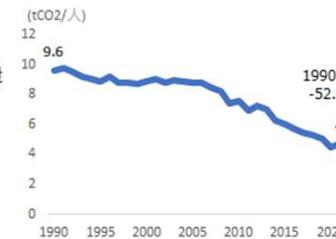
### GHG排出量（ガス別）



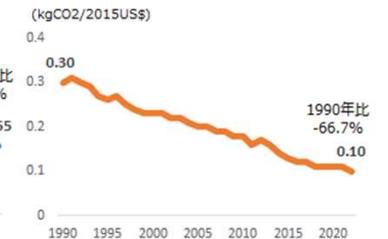
### エネルギー部門別排出量



### 1人あたりCO<sub>2</sub>排出量



### GDPあたりCO<sub>2</sub>排出量



出典：World Energy Balances 2023 (IEA), Greenhouse Gas Emissions from Energy 2023 (IEA), Greenhouse Gas Inventory Data (UNFCCC) <[https://di.unfccc.int/flex\\_annex1](https://di.unfccc.int/flex_annex1)>, Climate Watch Data Explorer <<https://www.climatewatchdata.org/data-explorer>>より作成



# 英国 制度的枠組み

## 気候変動関連法

### ■ 気候変動法（2008年）

- ✓ 2019年6月の改正により、**2050年までにGHG排出量実質ゼロの達成を約束。**
- ✓ 連続する5年間の排出に上限を設ける**カーボンバジェット**を設定。
- ✓ 2021年6月に**第6次カーボンバジェット（2033-2037年）を965 MtCO<sub>2</sub>eとする勧告を承認（2035年に1990年比-77%に相当）。**

### ■ エネルギー法2023（2023年10月）

- ✓ **CCUS・水素関連の認可や契約に関する規定や、熱ネットワークに係る規制、エネルギー機器や施設に関する規制、洋上風力発電のプロセスの簡素化などを規定。**

## 国内体制

### ■ 気候行動戦略委員会（Climate Action Strategy Committee）

- ✓ 2020年に設置。議長は首相。英国内外の気候戦略の実施について検討。

### ■ 気候変動委員会（Committee on Climate Change: CCC）

- ✓ **気候変動法に基づいて設置された独立諮問機関。**カーボンバジェットの法制化と政策立案や、国内外の目標の進捗に関する**進捗評価報告書を作成。**進捗評価報告書に対して、**政府は回答を作成。**
- ✓ 2023年には、政策がネットゼロ目標に必要なペースで立案されていないことを指摘。

## 関連計画・戦略

### ■ ネットゼロ戦略（Net Zero Strategy: Build Back Greener）（2021年11月）

- ✓ 2050年までにGHG排出量実質ゼロを達成するための長期戦略。各部門に関する主要な政策を記載。

### ■ パワーアップ英国 - エネルギー安全保障計画・ネットゼロ成長計画（2023年3月）

- ✓ **エネルギー安全保障計画：**ネットゼロ戦略とエネルギー安全保障戦略に基づき、低炭素・エネルギー自給率向上のために取り組むべき計画を記載。

- ✓ **ネットゼロ成長計画：**ネットゼロに向けたグリーン産業への投資の推進や、2022年進捗評価報告書の内容に対応した計画を記載。

### ■ カーボンバジェット実施計画（2023年3月）

- ✓ 気候変動法に基づき作成され、第4,5,6次カーボンバジェットを達成するための政策や提言、実施上のリスクを記載。

### ■ グリーン産業革命のための10項目プラン（2020年11月）

- ✓ コロナ禍からのより良い復興（build back better）を果たし、ネットゼロへのパスを加速するための計画。

### ■ バイオマス戦略2023（2023年8月）

- ✓ ネットゼロ達成に向けたバイオマスに関する戦略。

### ■ CCUSビジョン（2023年12月）

- ✓ 競争力のあるCCUSの新市場を構築するための計画。プロジェクトの資金配分を2027年から競争的配分プロセスに移行

## 関連計画・戦略（続き）

### ■ 英国エネルギー安全保障戦略（British Energy Security Strategy）（2022年4月）

- ✓ 新型コロナウイルスのパンデミック後の需要急増やウクライナ危機等による世界的なエネルギー価格の高騰に対処するために新たに発表された戦略。
- ✓ 2022年末までのロシア産石炭・石油の輸入停止、その後可能な限り早期のロシア産LNGの輸入停止、2030年までに最大8基の原子炉新設、太陽光の容量増加、風力発電の目標引き上げ等を含む。

### ■ 熱・ビル戦略（2021年10月）

- ✓ 2050年ネットゼロ目標の達成に向けた、家庭及び商業・公的部門ビルの脱炭素化に関する戦略。

### ■ 英国産業脱炭素戦略（2021年3月）

- ✓ 2050年ネットゼロ目標の達成に向けて、どのように英国の産業を脱炭素化していくかに関する戦略。
- ✓ 金属・鉱物、化学、食品・飲料、紙・パルプ、セラミックス、ガラス、石油精製、エネルギー集約度の低い製造業等、英国の産業部門全般を対象とし、ネットゼロへの移行に向けたロードマップを提示。

### ■ 英国運輸脱炭素化計画（2021年7月）

- ✓ 2050年ネットゼロ目標の達成に向けた運輸部門の脱炭素化計画。

### ■ 英国水素戦略（2023年12月更新）

- ✓ 2030年までに低炭素水素生産能力を**10GW**とするためのアプローチに関する戦略。



# 英国 特筆すべき気候変動対策

## 化石燃料に関する海外支援

- **気候資金戦略（2023年）**
  - ✓ 英国の国際資金支援における方針を示した戦略。パリ協定及びグラスゴー気候合意を達成するために必要な急速な転換及び構造的変化の提供にあたり、「クリーンエネルギー」、「気候及び人間のための自然」、「適応とレジリエンス」、「持続可能な都市、インフラ、運輸」の4つのテーマを設定。
  - ✓ 全ての新規二国間ODAをパリ協定に整合したものとする約束に言及。
  - ✓ 石炭火力に関しては、石炭火力を迅速に削減するための適切な解決策の実施や、石炭依存地域における公正なエネルギー転換への支援を実施する方針を記載。
- **クリーンエネルギー移行に向けた英国の支援の整合化ガイダンス（2021年3月）**
  - ✓ 英国政府による海外の化石燃料エネルギー部門への支援に関する新たな方針。海外での化石燃料エネルギー部門には、新規の直接的な支援を提供しない方針を規定。
- **クリーンエネルギー移行に向けた国際公的支援に関する宣言（2021年11月）**
  - ✓ COP26において発表された、2022年末までに化石燃料事業への公的融資を停止する合意。英国を含む20か国が参加。

## 火力発電に関する国内対策

- **2035年までに完全に脱炭素化**
  - ✓ 供給の安全性を確保した上で、2035年までに電力システムを完全に脱炭素化。
  - ✓ 2030年までに電力の95%を低炭素化し、2023年までに再エネ容量を更に15%増加させる。
- **回収設備なし石炭火力の廃止**
  - ✓ 2024年9月末までに回収設備のない石炭火力を廃止（当初の2025年予定から前倒し）。

## 非エネ起CO<sub>2</sub>対策

- **Fガス規制**
  - ✓ 使用されるFガスの規制と着実な削減、製品の禁止、漏洩検査、Fガス取扱業者の認証義務など、排出削減のための様々な措置を要求。
  - ✓ これにより、2030年までに79%削減するというFガス規制の目標、及び2036年までにHFC消費量を85%削減するというモントリオール議定書のキガリ改正目標を達成可能。
  - ✓ 2022年にFガス規制のレビューを実施。2022年12月に報告書を公開（F gas regulation in Great Britain Assessment report）。全般的に成功しているが、いくつかの側面で強化が可能と評価。

## メタン削減戦略

- **農業行動計画（Agriculture Action Plan）**
  - ✓ 英国の炭素バジェット達成に向けた排出削減のための、資源効率性や土地管理策を幅広くカバーする計画。施肥削減、ふん尿処理改善、有機質土壌改善等を含む。
- **資源・廃棄物戦略（Resources and Waste Strategy）**
  - ✓ 廃棄物分野の全体的な方向性を定めた戦略。
  - ✓ 2035年までに、一般廃棄物のリサイクル率を65%に引き上げるとともに、一廃の10%以上を埋め立てないことを約束。